



保育研究大会の

準備と処理の

記録をたどつて

高橋 壽美夫

私どものところでは去る四月二十四日から三日間第五回関東保育研究会を開催したが参会者三百数十名を得て盛況裡に所期の目的を達することが出来た。大会そのものは一般によく公表されるところであるが、この大会を産みだすためには仲々の苦心があり多数の人の協力を必要とするものがあるのでこのたび本大会までの準備とその後処理のことについて筋みちを簡述して見たいと思う。私は終始一貫してこの仕事にたずさわつた関係で各種官庁学校団体との接衝の経緯と事務上の処理のことについて記録をたどりつつ拾ひあげて見ることにするがこのことが多少なり御参考ともなれば幸である。

一、六月三日（昭和二十六年）千葉県で行われた第四回関東保育協

議大会のバトンタッチを受ける。それ以来七カ月は個々の間に來るべき大会の時機構想について話合はあつたが計画的のものはなかつた。

二、一月（昭和二十七年）第五回関東保育大会を群馬県で引受けはしたものの会場地は具体的にきまつていない。四五月頃高崎市に子ども博が開催されることになつたのでここにするこの世論が高まつて來た。

× 日、高崎市学務課長と面談、高崎市でやるかどうかは現場である市内の幼稚園保育園職員の意向を尊重してきめたいといつておられた。

× 日、松井氏と共に高崎市市内幼稚園保育園及保育関係者に面接する。大会に経験がないというので断りがあつたが強硬に

たのんで大体の内意を得る。

- × 日、副会長山端氏と共に高崎市長助役学務課長厚生課及長市会議長を歴訪して次のことを陳情し懇談する。

(一)会場を高崎市とすること

(二)経費分担のこと

(三)共同主催とすること

これにはあらかじめ陳情書をつくりこれに行事日程と経費予算の概要を添付して提出する。

三、二月

- × 日、市当局と対談第三日にして初めて会場地引受と共催方の確答を得た。分担金については未定

- × 日、第一回の準備会を会場地として内定の市立第二幼稚園に開く。参加者は保育会役員その他、県教委、県児童課企画室市学務課厚生課並市内幼稚園保育園の代表者凡そ三十名で次のことを打合せもる。

(一)委員の構成

(二)会場地を高崎市とすることの確認

(三)行事日程

(四)予算の概要

- × 日、山端副会長来訪、県社会福祉協議会の協力方申入れとこの対策について懇談する。

- × 日、志村会長山端副会長に同伴して県民生部部長及高崎市長助役学務課長厚生課長を訪問する。

- × 日、山端副会長来訪、日保連や関係連との関係について開催日取のことを話合う。県社会福祉協議会に対し本会へ協力

後援方の依頼書を提出することをきめる。

- × 日、前回開催地千葉県成田町幼稚園に出張して運営の概況につきつぶさに調査する。

- × 日、日保連事務所を東京都芝区増上寺明德幼稚園に訪れて日保連の組織や関係連との関係につき懇談し更に東京都保育会長鎌田しん氏に会つて大会に対する所感をきく。

- × 日、県社会福祉協議会を訪問し協力後援の文書を手渡しして来る。

- × 日、高崎市学務課長厚生課長を訪問して経費分担協力方を依頼する。

同市旅館業組合代表を訪問して宿泊料その他について調査する。

- × 日、各都県代表者を確かめるため問合せ状を発送する。

大会係員一覧表をつくる。

- × 日、大会の要項特に行事日程の細案をつくる。

- × 日、大会案内状の文案をつくる。

- × 日、第二宿泊地伊香保町に出張して同町幼稚園長中曾根氏、同町長代理観光協会長に面接し協力方を依頼する。

- × 日、各都県保育会代表者全員の受理をする。

四、三月

- × 日、東京都代表鎌田氏より日保連理事会が四月二十七日開催されるので日取変更方の要あることと各都県代表者を東京に開催しよう申入あり。
- × 日、第二回準備会開催方通知状を發する。
- × 日、第二回準備会を開き次のことについて打合せする。
- × 日、研究大会要項について——教育的効果をより大きくするために大会の名称従来の協議大会を研究大会とし研究發表討議講演の時間を成るべく多くするようつとめる。
- (一) 案内状の細案について
 - (a) 係員一覽表の吟味
 - (b) 各都県代表者会開催の時機
 - (c) 永年勤続者の表彰範圍
- × 日、二十年以上勤続者調査方依頼書の發送
- × 日、研究發表協議題期日等のことについて各都県代表者に依頼状を發送する。
- × 日、大会案内状及表彰状印刷方註文
- × 日、大会案内状の發送——県内各施設官庁各都県代表（各都県一括）県社福協議会（関東地区一括）
- × 日、県保育会理事会開催
- × 日、日程、関係連規約、乗物時刻表を印刷所に廻す
- × 日、文部大臣及厚生大臣に対し係官の派遣方申請書を發送する。

五、四月

- × 日、高崎市こども博を觀覽し下調査をする。
- × 日、各都県代表者会に招待すべき県内関係者に案内状を發送する。
- × 日、文部省厚生省より係官の派遣方を確実にするため兩者を訪問する。
- × 日、小見、鈴木の兩氏フレール館高崎代理店を訪れ金一封と表彰用花瓶十數個の寄付を受入れる。
- × 日、第三回準備会を開催する。
- (一) 予算案の吟味
 - (a) 被表彰者選考
 - (b) 本県提出協議題
- (二) 係毎の細部準備
- (三) 本県の研究發表者
 - (a) 日程と関連する係
 - (b) 参加者の中間報告
 - (c) 次回準備会の時機
- × 日、各都県代表者への参加者及被表彰者に対する案内状を發送する。
- 中曾根氏來訪、伊香保に於ける宿泊及晚餐會觀光のことについて懇談する。
- 日程大書講演題原稿を会場地に郵送する。群馬バスに対し貸切バス二台を註文する。
- × 日、き章を註文する。高崎市記者室に対し案内状を發送する
- × 日、経過報告書をつくる。太田副会長経費分担金のことを出願する。
- × 日、日程の細部につき検討する。

経費分担手続きのため出県する。

× ことも博入場料割引方につき主催者に交渉する。参加申込者の現在数を確認する（大会五日前であるのに大会当日の四割）

× 日、会計報告の原案をつくる。

× 係員総会当日の打合事項を吟味し印刷する。

× 日、参加申込者名簿を一応完成する。

× 宿泊係主任に対し参加者名簿を送る。

× 日、伊香保観光宿泊のため同地に出張伊香保町に於ける協力者代表に対し案内状を発送する。

× 日（大会前々日）係員総会（凡そ百名）を開く——総会、各係会、報告連絡総会

× 日（前日）各係毎に準備する。

× 日、大会第一日開会式研究協議講演代表者会。

× 日、大会第二日研究発表及び討議会計報告閉会式——レクリエーションことも博観覧。

× 日、大会第三日榛名伊香保観光。

× 日、会場地に於て庶務会計処理をする。

× 日、志村会長、太田山端兩副会長と共に挨拶廻りをする（県及び教委、県社会福祉協議会、高崎市役所、同商工会議所市立幼稚園）

× 日、各都県代表、研究発表者、県内各施設に対し挨拶状を発送する。

六、六月

× 日、県、県教委、高崎市より分担金を受領する（教委六月九日、高崎市同七日、県六月十一日）

× 日、支払事務を完了し会計報告書を作製する。

× 日、会計報告及び反省会開催通知状を発送する。

× 日、反省会を催す（準備会構成委員三十名）

以上紙面の都合上筋みちだけにとどまったことを遺憾に思うが具体的なものについて御問あればお答をいたしたい。

（群馬県保育会幹事）